

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-505472(P2001-505472A)

【公表日】平成13年4月24日(2001.4.24)

【出願番号】特願平10-530696

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 18/00

A 6 1 B 5/0402

A 6 1 B 5/0408

A 6 1 B 5/0478

A 6 1 B 5/0492

A 6 1 B 17/00

A 6 1 B 18/12

// G 0 1 N 21/64

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 3 0

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 17/39

A 6 1 B 5/04 3 0 0 J

A 6 1 B 5/04 3 1 0 M

G 0 1 N 21/64 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月14日(2004.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書(自発)

平成16年 9月 14日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第530696号

2. 補正をする者

名称 バイオセンス・インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 東京都千代田区霞が関三丁目7番1号

大東ビル7階

氏名 (6647)弁理士 田澤 博昭



電話 03(3591)5095番

4. 補正の対象

特許請求の範囲の欄

5. 補正の内容

特許請求の範囲を別紙の通り補正する。



6. 添付書類の目録

補正後の特許請求の範囲を記載した書面 . . . 1通

以上

方文

補正後の特許請求の範囲

請求の範囲

1. PMR治療のための装置であって、

患者の心臓と係合する遠位端を有し、灌流を促進する
チャンネルを心臓組織に形成するためのエネルギーを心
臓組織に与える脈管再生装置からなる細長いプローブと、
微小循環に応じた信号を生成する血流センサを備え、
治療に応じた指標を提供するセンサとからなる装置。

2. センサは治療に応じて患者の身体が発生する信号を
受信する請求項1に記載の装置。

3. PMR治療のための装置であって、

患者の心臓と係合する遠位端を有し、灌流を促進する
チャンネルを心臓組織に形成するためのエネルギーを心
臓組織に与える脈管再生装置からなる細長いプローブと、
治療に応じた指標を提供するセンサと、
センサに結合し、信号を分析して治療の効力を示す指
標を提供し、ST部の上昇を検出する信号処理回路とか
らなる装置。

4. センサが電極を備えている請求項3に記載の装置。

5. 電極がプローブの遠位端に隣接した位置に設けられ
ている請求項4に記載の装置。

6. センサは光学センサからなる請求項3に記載の装置。

7. 心筋組織に蛍光誘発放射を行う導波管を備え、センサは組織が発する蛍光を受け取ってそれに応じた信号を発生する請求項6に記載の装置。

8. 脈管再生装置は心臓組織にレーザを照射する請求項3に記載の装置。

9. 脈管再生装置は心臓組織にR.Fエネルギーを照射する請求項3に記載の装置。

10. 脈管再生装置は心臓組織に高強度の超音波照射を行う請求項3に記載の装置。

11. 脈管再生装置は機械的エネルギーを心臓組織に加える請求項3に記載の装置。

12. 患者の心臓に対するモニター付きP.M.R治療法であつて、

心臓に対してエネルギーを加える脈管再生装置を含むプローブを患者の心臓組織に係合させる段階と、

装置を用いてエネルギーを心臓組織に与え灌流を促進するチャンネルを心臓組織に形成する段階と、

光導波管を通して蛍光誘発放射を前記心臓組織に与える段階と、

光検出器を通して心臓組織からの蛍光放射を受け取り、心臓組織から反射されるエネルギーを受け取ることによって、治療に応じて患者の身体から信号を受信する段階とを含む方法。

13. 蛍光放射の受け取りは自己蛍光放射の受け取りを含む請求項12に記載の方法。

14. 蛍光放射の受け取りは患者の血流に投与された薬品からの蛍光放射の受け取りを含む請求項12に記載の方法。

15. 患者の心臓に対するモニター付きP.M.R治療法であって、

心臓に対してエネルギーを加える脈管再生装置を含むプローブを患者の心臓組織に係合させる段階と、

装置を用いてエネルギーを心臓組織に与え灌流を促進するチャンネルを心臓組織に形成する段階と、

治療に応じて患者の身体から信号を受信する段階と、上昇したS.T部を検出することにより、信号を処理して治療の効力を示す指標を提供する段階を含む方法。

16. 心臓へのエネルギー印加はレーザ照射を含む請求

項 1 5 記載の方法。

1 7 . 心臓へのエネルギー印加は R F エネルギーの照射を含む請求項 1 5 記載の方法。

1 8 . 心臓へのエネルギー印加は高強度の超音波の照射を含む請求項 1 5 記載の方法。

1 9 . 心臓へのエネルギー印加は機械的エネルギーの印加を含む請求項 1 5 記載の方法。

2 0 . P M R 治療のための装置であつて、

患者の心臓と係合する遠位端を有し、灌流を促進するチャンネルを心臓組織に形成するためのエネルギーを心臓組織に与える脈管再生装置からなる細長いプローブと、治療に応じた指標を提供するセンサと、

センサに結合し、信号を分析して治療の効力を示す指標を提供する信号処理回路とからなり、前記回路は不整脈を検出し、前記回路によって検出された不整脈が少なくとも 1 つの V P B からなる装置。

2 1 . 患者の心臓に対するモニター付き P M R 治療法であつて、

心臓に対してエネルギーを加える脈管再生装置を含むプローブを患者の心臓組織に係合させる段階と、

装置を用いてエネルギーを心臓組織に与え灌流を促進するチャンネルを心臓組織に形成する段階と、

心臓内部の指定されたチャンネル位置近傍の微小循環血流量に応じた信号を受信することにより、治療に応じて患者の身体から信号を受信する段階とを含む方法。

22. 患者の心臓に対するモニター付きP.M.R治療法であって、

心臓に対してエネルギーを加える脈管再生装置を含むプローブを患者の心臓組織に係合させる段階と、

装置を用いてエネルギーを心臓組織に与え灌流を促進するチャンネルを心臓組織に形成する段階と、

治療に応じて患者の身体から信号を受信する段階と、

V.P.Bの検出を通して不整脈を検出することにより、前記信号を処理して治療の効力を示す指標を提供する段階を含む方法。